

石クリ通信

4月号

番犬ソッキ誕生！

事務長 石川 都

まだ生まれて二ヶ月の幼犬ソッキが、はや番犬デビューを果たした。

まだ寒い二月末の日曜に、ソッキの育ての親が会いに来て双方大喜びした。その翌月曜の日に、ソッキは無人の家の中を縦横無忌に走り回った。フェンスを乗り越え、フードの袋を噛り、院長書斎のノートパソコンを廊下まで転がし、玄関フロアに落ち物五つ、和室のお雛様の前に水溜まりと見事な探検の痕跡を帰宅後に目にした時には、開いた口が塞がらなかった。でもソッキは叱つても、つづらな瞳で尻尾の白い筆先をピョコピョコ振るのみなので、諦めて外へ出すことにした。

気をつけないと踏みそうなほど小さくても、元気で逞しい幼犬は初めての外界に喜び駆け回り、最初こそロープが絡まりキャンキャン鳴いたものの、すぐに芝や枯葉を食べ、モグラの穴を掘り、庭石の上では飛び降り・とパワー全開。夜はまださすがに寒いため家に入れようかと思いきや、外に置いた自分のハウスでグイーグイー寝ているので、そのまま朝まで放っておいた。翌朝も鳴きもせず、温かいミルクを飲み干し、そのまま決めた、完全に外飼いにした。一度広い外界の新鮮な空気を満喫したら、家の中よりはるかに気持ちがいいのだろう。部屋で顔が見られないのは、むしろ寂しいのは、むしろ私たちの方である。

しかも数日後の夜中に院長を迎えにきた車にはちゃんと吠えたので、番犬としても見事合格！これでわが家のセキユリティも、動く警備犬アルソッキで万全となった。



ついに

事務 森 多加子

2月末頃からの事です。ベランダで洗濯を干して家の中に入ると目がチパチパ、鼻水タラ。まさか花粉症？いやいや違うと否定してみたけれど次の朝も、その次の朝も。なんとなく認めたくないけれど、たぶん花粉症なんです、この歳でついに・・・。ティッシュペーパーが手放せなくなりそうです。

ウクライナ侵攻で考えること

院長 石川 悟

ロシアのウクライナ侵攻が止まりません。多くの罪もない民間人を殺し、何百万人もの難民を生んでいる戦争が、二十一世紀の世界で実際に起きていることは信じられませんか。ロシアとウクライナの戦争と言うより、プーチンとウクライナの戦争と言われている。プーチンがなぜ侵略戦争を始めたのか、テレビや新聞で専門家が解説していますが、間違いなく言えるのはロシアの国益のための戦争だ、とプーチンは信じているのだらうということだ。

ソ連崩壊後のロシア経済を立て直し、国民の指示を得て独裁者としての地位を築き上げたプーチン。自分に反抗する者たちを容赦なく排除して、「ロシアのため」と称して、情報統制を行い、西側諸国の意見や警告を無視して突き進む姿を見ると、過去の独裁者がそうであったように悲惨な末路が待っている気がします。

平和な日本で安穏と暮らしている我々がやれるのは、ウクライナに対して少しでも支援することですが、それ以上に必要なことは、日本の民主主義を堅持するための監視を怠らないことだと思えます。三権分立、報道の自由、基本的人権の尊重など・・・（教科書的ですが）実行力のある政治家に国の将来の行方を託すことができると思っても、長期政権は遠からず腐敗するのが常です。政権に都合の悪い真実を報道するメディアを公権力が押し潰すことがないか。「お国のために」という理由で個人の権利が侵害されることはないか、常に目を光らしておく必要があると思います。

今年も咲きました

看護師 澤田 彰子



去年の春先に園芸店で檸檬の花が可愛く咲いているのをこれまた一目惚れして購入しました。その時店員さんから「冬越しするのが難しいから絶対枯らしてしまえますよ。それならまた来年買いに来て下さい」と嫌味よく言われカチンときた私は一年間必死に世話をしました。そして先日見事に二十数个の花を咲かせる事ができました。あの時の店員さんの一言がなければ枯らしてしまっていたかもしれないので今となっては店員さんに感謝しています。

花見

事務 吉田 政子

数年前両親と行ったかみね公園で、御衣黄という黄緑色の花弁の八重桜を初めて見ました。母がとても気に入って、今年はまた見に行けたのですが、コロナ禍の中での桜のシーズンになってしまったので、車を停めて車中から鑑賞しようと思います。来年は、何も心配せず桜を愛でながら桜のトンネルを歩きたいですね。



ひな人形

看護師 太田 小百合

先日娘が「友達と結婚して遊んでくれる人が少なくなった」と言っていました。ふと「そういえば、ひな人形しばらく飾ってないなあ。そのせいで娘の幸せが・・・」と思い、急いで物置からひっぱり出して飾りました。ひな祭りは女の子の幸せや健康に対する祈りが込められた行事です。「ずつと物置にしまい込んでごめんね」と謝りながら人形をながめました。



ちよつと寄り道

看護師 柴田 さち子

寒さもだいぶ和らぎ、気持ちにも余裕ができたので、仕事帰りにちよつと神峰公園に寄ってみました。コロナウイルスが出てからは、二年近く車で通るだけでした。今までと違い気分爽快でした。カメラを持って写真を撮っている人が何組もいました。

